



2014.3.31  
コチ コンサルティング

上海市では4月1日より最低賃金改定が実施され、1820元/月、17元/時に引き上げられます。また2014年4月からの社会保険基数の上限、下限金額調整に直結する2013年度の社会平均賃金の公表が遅れていますが、予測では5,036元/月、前年比7.3%上昇となるものと思われます。

本号では、最低賃金、社会平均賃金の最新動向をご報告いたします。

### 内容 【人事・労務情報】

■最低賃金改定（上海市）、各地の最低賃金

■2013年度社会平均賃金（上海市）

【コラム】 激的な転職市場 ～1ポジションに平均45.2人の応募～

### 人事・労務情報

#### ■最低賃金の動向

4月1日から調整が実施される上海市の最低賃金は従来の1620元/月から1820元/月、14元/時から17元/時へとそれぞれ12.3%、21.4%引き上げられます。

時間当たりの最低賃金が適用されるのは、非全日制労働契約に基づく労働者（同一企業における平均労働時間が4時間/日、24時間/週）です。

今回の改定により、上海市の最低賃金が全国で最高となりました。

全国的に最低賃金の上昇率は前回改定時の上昇率を上回っており、経済成長に陰りが見える中でも、労務派遣規定の施行等とあわせ、低賃金労働者層の待遇改善政策は継続・強化されています。

省・市名	2014年					2013年			
	月次最低賃金		最低時給		実施時期	月次最低賃金		最低時給	実施時期
	額	改定後 上昇率	額	改定後 上昇率		月給	改定後 上昇率		
上海市	1,820	12.3%	17.0	21.4%	2014.4.1	1,620	11.7%	14.0	2013.4.1
北京市	1,560	11.4%	16.9	11.2%	2014.4.1	1,400	11.1%	15.2	2013.1.1
深圳市	1,808	13.0%	16.5	13.8%	2014.2.1	1,600	6.7%	14.5	2013.3.1

上海市では、月次最低賃金には社会保険費用（個人負担・企業負担）、住宅積立金（個人負担・企業負担）、残業手当、特殊勤務手当（3交代制、特殊作業環境等）、高温・低温手当、各種手当（食事、交通、住宅等）を含みません。いわゆる手取り基本給（職務給等の名目に分割することは可）が1,820元を下回ってはならないこととなります。

最低時給には社会保険費用（個人負担・企業負担）を含まないと規定されていますが、月次最低賃金に含まれない諸手当等に関しては規定されていません。

**Navi** 社会保険基数は地域の前年度平均賃金の60%を下回らないと規定されており、4月から適用される2013年度社会平均賃金にあわせて、最低賃金の社会保険基数も上昇します。また上海市では、“三険”（旧外来人員用保険からの移行措置）の基数比率も4月から改定（50%→55%）されます。雇用コストの上昇は最低賃金の上昇にとどまりません。（次表参考）

### Navi 【最低賃金の最低雇用コスト（上海市）】

対象期間	社会保険種別	月次報酬総額 (グロス)	社会保険 基数	個人負担			手取給与 (ネット)	企業負担		雇用 コスト
				社会 保険	住宅 積立	所得税		社会保 険	住宅積 立	
2014年3 月分給与	都市従業員 社会保険	2,060	2,815	295.6	144	0.0	<b>1,620</b>	985.3	144	3,189
	新三険	1,969	2,346	211.1	138	0.0	<b>1,620</b>	668.6	138	2,500
2014年4 月分給与	都市従業員 社会保険	2,281	3,022	317.3	144	0.0	<b>1,820</b>	1057. 6	144	3,483
	三険	2,207	2,770	249.3	138	0.0	<b>1,820</b>	789.4	138	3,134

\* 2014年4月分の社会保険基数は2013年上海市平均賃金予測値を使用

**Navi** 最低賃金の上昇は、傷病休暇手当（非労災）、疾病救済金、労災休暇期間の賃金、後遺症手当等の  
 上昇にも直結します。

傷病休暇・手当：<http://cochicon.com/2-4-8/>

### ■ 2013年 社会平均賃金（上海）

昨年は上海市の2012年の社会平均賃金の公表は3月25日でした。2013年4月1日からの社会保険基数上  
 限、下限調整に使用される上海市の2013年度社会平均賃金は5,036元、前年比7.33%の上昇と見込まれ  
 ます。

年度	平均賃金		最低賃金		CPI	昇給 ガイドライン
	元/月	上昇率	元/月	上昇率		
2007	2,892	17.40%	(750)/840	12.00%	3.20%	平均10.5%
2008	3,292	13.80%	960	14.30%	5.80%	平均11.0%
2009	3,566	8.30%	960	0.00%	-0.40%	N A
2010	3,896	9.30%	1,120	16.70%	3.10%	下限:4% 平均:11% 上限:16%
2011	4,311	11.10%	1,280	14.30%	5.20%	下限:6% 平均:13% 上限:18%
2012	4,692	8.30%	1,450	13.30%	2.80%	下限:5% 平均:12% 上限:16%
2013	<b>5,036</b>	<b>7.33%</b>	1,620	11.72%	2.80%	下限:5% 平均:12% 上限:16%
2014			<b>1,820</b>	<b>12.35%</b>		

【 2014年4月～2015年3月の上海市の社会保険基数（予測値）】

都市従業員保険：下限額 3,022元（従来2,815元、207元上昇）

上限額 15,108元（従来14,076元、1,032元上昇）

三険（旧外来人員用保険からの移行措置）基数：2,769.8元（従来2,346元 423.8元・18.06%上昇）

**Navi** 前年度の社会平均賃金の上昇が人件費に与えるインパクトは、賃金上昇結果が顕かになることと同時に、実質的には社会保険負担額が増加することです。

日系企業では従来手取り賃金（ネット）で労働契約賃金を確定してきた企業も、支給額（グロス）に変更する動きが顕著ですが、市平均賃金の3倍を超える高収入者にとっては、社会保険料の変動による実質手取り賃金額が確定しにくいいため、手取り賃金で契約を望む傾向があります。

下表は上海市・都市従業員保険の4月以降の社会保険料変動額です。住宅積立金の基数調整は上海市では7月であり、3月と4月で積立額は変動しません。

都市従業員 保険（上海）	納付 比率	＜社保基数下限			下限～上限			＞社保基数上限		
		2014. 3月賃金	2014. 4月賃金	負担増	2014. 3月賃金	2014. 4月賃金	負担増	2014. 3月賃金	2014. 4月賃金	負担増
前年度個人 月次平均賃金		2,815元 以下	3,022元 以下		2,815元～ 14,076元	3,022元～ 15,108元		14,076元 以上	15,108元 以上	
社会保険基数		2,815	3,022		2013年個人平均賃金額 (A)			14,076	15,108	
社会保険料 個人負担	10.5 %	296	317	22	A×10.5%		A上昇分 ×10.5 %	1,478	1,586	108
住宅積立 個人負担	7.0%	197	197	0	2012年個人平均賃金 ×7.0%			985	985	0
社会保険料 企業負担	35.0 %	985	1,058	72	A×35.0%		A上昇分 ×35%	4,927	5,288	361
住宅積立 企業負担	7.0%	197	197	0	2012年個人平均賃金 ×7.0%			985	985	0

## コラム

＜激烈な転職市場 ～1ポジションに平均45.2人の応募～＞

就職斡旋ネットが、春節後のホワイトカラーの就労需給指数は平均45.2（1つのポジションに応募される履歴書の数）という調査を公表しています。就労競争率が最も厳しい地域は深圳で71.1とのこと。

厳しい競争を勝ち抜き確保できる収入は、最も高いのが上海で平均7,214元/月、次いで北京（6,914元）、深圳（6,819元）と発表されており、上海のホワイトカラーの間ではこの数字が踊っているようです。

2013年の上海市の平均賃金が5,000元を超えましたが、広州、北京、南京では、2012年の市平均賃金がすでに5,000元を超えています。中国では多様な賃金調査結果が出回っていますが、データの見極め、読み方は容易ではありません。

「高い報酬を得るためには、激烈な転職競争に打ち勝たなくてはならない！」

というのが就職斡旋ネットの結論ですが、「高い報酬を得るためには、高い業績を上げなくてはならない！」に変わってほしいものです。企業も周囲を見回すのではなく、自社の評価制度、報酬制度を見つめ直すべきかもしれません。

